

別記第16号様式（第10条関係）

基金全体計画書

事業の名称：東富士演習場関連公共用施設（教育文化施設：裾野市民文化センター改修）整備事業

- 1 継続事業の目的：老朽化した市民文化センターの施設設備を改修し、地域住民の生活環境の向上を図る。
- 2 継続事業の内容：市民文化センターエレベーター、エントランスホール空調、舞台照明、トイレの改修。
- 3 継続事業の始期及び終期：平成28年 3月から令和6年 3月まで
- 4 継続事業に要する経費の総額：744,173,000円
- 5 経費の内訳

年度	基金造成額				基金処分量				基金残額
	交付金	市町村費等	運用益	計	継続事業の内容	規模・数量等	事業費	基金処分量	
	円	円	円	円			円	円	円
平成27年度	65,250,000	0	0	65,250,000			0	0	65,250,000
平成28年度	65,250,000	0	130,500	65,380,500			0	0	130,630,500
平成29年度	65,250,000	0	130,630	65,380,630			486,000	0	196,011,130
平成30年度	65,550,000	0	98,542	65,648,542	エレベーター改修	一式	29,181,600	20,000,000	241,659,672
令和1年度	0	0	180,251	180,251	トイレ洋式化	一式	34,016,400	20,000,000	221,839,923
令和2年度	65,250,000	0	188,564	65,438,564	エントランス空調	一式	54,953,000	20,000,000	267,278,487
令和3年度	0	0	226,566	226,566			0	0	267,505,053
令和4年度	0	0	133,667	133,667	舞台照明交換	一式	246,384,000	146,000,000	121,638,720
令和5年度	0	0	0	0	舞台照明交換	一式	379,152,000	121,638,720	
計	326,550,000	0	1,088,720	327,638,720			744,173,000	327,638,720	0

1

- 注：1 基金造成額の欄及び基金処分量の欄の各項目については、過年度までは実績により、本年度以降は計画により記入すること。
- 2 継続事業の始期年度から終期年度まで全て記入すること。